

昭和57年度事業報告書および

昭和58年度事業計画書

大阪市南区難波2丁目3番26号

財団法人 川口交通遺児育英会

昭和 57 年度 事業報告書

I 事業の状況

1. 育英奨学資金の貸与事業

前事業年度とはほぼ同様の募集方法に拠ったものであるが、採用については、申込のあった者に対し、面接の上条件が合致していれば、すべて奨学生として採用することを基本方針とした。

この結果、大阪府教育委員会、各高等学校、中学校、大阪青年会議所等の協力も得て本年も予算の46%に達する奨学貸与事業を実施することが出来た。

	1 年 生	2 年 生	3 年 生 (高専の4年生含む)	計
高等学校奨学生 高専の1～4 年生を含む	9	10	27	46
同上貸与金額	1,080,000	1,180,000	3,200,000	5,460,000

なお、次年度の予約奨学生数(58年4月より高校に進学し、貸与を開始する予定の申込決定者) 合計 9名

2. 私学入学資金の貸与事業

入学資金貸与事業は20名の貸与者を目標として実施したが、数字的には8名に貸与したのみの結果となった。

3. 交通遺児に対する補導教育等の事業

(1) 川口財団憩の家の運営

57年7月中旬より8月下旬までの期間、例年どおり川口財団憩の家を交通遺児並びにその保護者に開放して運営を行なった。

2泊3日の利用により、日常家庭的な行事を持つ機会の少ない遺児たちにその十分な機会を提供する目的で実施しているものであるが、レジャー

等の多様化に伴ない年々利用者が減少しつつあり、本年度はついに利用者は1家族のみであった。なお、この事業の運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の御協力を得ている。

(2) 青少年キャンプ

生徒、児童を対象とする。青少年キャンプの開催については、57年8月1日より2泊3日の日程で、財団法人大阪交通災害遺族会主催による三重県志摩での野外活動キャンプに協力参加すべく予定していたが、残念ながら当日朝よりの台風の襲来により取り止めの止むなきに至った。さらに別日での実施を検討したが、日程・場所等の都合がつかず当年度は実施できなかった。

(3) 創立10周年記念事業

財団の創立10周年記念事業として、社団法人日本青年会議所主催による第12回J C青年の船(昭和57年6月15日から12日間の船旅)に、当財団より下記の奨学生OB6名が参加した。それぞれ青年としての広い視野と国際性を体得し、且つ楽しい思い出を持つことが出来、その旨は別刊の川口新聞10号に所載のところである。

尚、次年度にも参加出来るよう社団法人大阪青年会議所の協力を得て、今年も財団奨学生並びに、奨学生OB全員に案内状を発送し、4名の申し込みがあり、面接の結果その全員を推薦することとした。

第12回 青年の船 . 参加者

氏名	年齢	勤務先
奥村 綱之	24	ダイキン工業株式会社
万野 秀男	25	大嘉建設株式会社
玉上 敬子	24	広栄化学工業株式会社
奥野 由里	24	株式会社朝日旅行社
山本 恭也	22	民芸肉料理 はや
山下 仁子	24	株式会社京都銀行

第13回 青年の船 推せん者

氏名	年齢	勤務先
奥田雅則	29	堺レーシング
奥出昌子	21	学生
河野宏甲	20	学生
池田恭子	20	学生

Ⅱ 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

昭和57年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当業務	手当	現職
理事長	川口正昭	46.5	法人の代表及び事務の総理	—	神戸大学教授
副理事長	中谷洋一	46.5	理事長職務の補佐	—	公認会計士
理事	竹谷新	49.6	特になし	—	帝国女子大教授
”	桜井良文	49.6	”	—	阪大教授
”	平岡英信	51.1	”	—	清風学園副校長及仏教大学講師
”	大津濟	52.5	”	—	住友信託銀行(株)取締役副社長
”	平岡龍人	55.5	”	—	清風学園常務理事
監事	筒井陽太郎	57.11	”	—	中谷公認会計士事務所総務
”	小林令祐	55.10	”	—	大同酸素(株)
評議員	森輝彦	52.5	”	—	丹平製薬(株)社長
”	水山周峰	49.6	”	—	(株)ビジネスセンター三水 専務
”	白壁傑昭	55.5	”	—	(株)しらかべ 社長
”	銭高善雄	55.5	”	—	(株)銭高組 社長
”	松野隆一	55.5	”	—	初味工業(株)専務取締役
”	吉谷巖	55.5	”	—	摂陽工業(株) 副社長
”	高木修二	46.5	”	—	阪大教授
”	竹之内脩	46.5	”	—	阪大教授
”	福岡一男	55.5	”	—	住友信託銀行(株)金沢支店長
”	小野莊太郎	55.5	”	—	住友信託銀行(株)業務推進役
”	吉田実	49.6	”	—	阪大医学部事務長
”	今永智一郎	46.5	”	—	上町織維会館事務長

2. 職員に関する事項

職 務	氏 名	就任年月日	担当業務	手 当	備考
一般事務	南 伊枝易	53. 1. 1	事務処理 全 般	月額 40,000 円 賞与 年 2ヶ月	

(注1) 南伊枝易は昭和58年3月31日をもって退職し、同年4月1日より田中真理が事務処理全般を引継ぐこととなった。

(注2) 上記の他、前期同様学生アルバイト等を臨時的に依頼した。

3. 会議に関する事項

(1) 理 事 会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和57年5月24日	1. 昭和57年度事業報告書承認の件 2. 昭和57年度収支計算書承認の計	承 認 〃
昭和57年11月20日	1. 和田正、辞任につき監事1名選任の件 2. 奨学貸与金の増額、及びこれに基づく奨学金貸与規程の一部改正の件 3. 入学資金貸与規程一部改正の件	承 認 〃 〃
昭和58年3月26日	1. 昭和58年度収支予算書承認の件 2. 昭和58年度事業計画案承認の件	承 認 〃

(2) 評 議 員 会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和57年 5 月 24 日	1. 昭和57年度事業報告書承認の件 2. 昭和57年度収支計算書承認の件	承 認 〃
昭和57年 11 月 20 日	1. 和田正、辞任につき監事1名選任の件 2. 奨学貸与金の増額、及びこれに基づく奨学金貸与規程の一部改正の件 3. 入学資金貸与規程一部改生の件	承 認 〃 〃
昭和58年 3 月 26 日	1. 昭和58年度収支予算書承認の件 2. 昭和58年度事業計画案承認の件	承 認 〃

4. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	住 所	領 収 金 額
一般会計歳出 に充てるため	住友信託銀行(株) いすゞ交通 安全友の会	大阪市北区角田町 8番47号	100,000
	高 木 修 二	京都市左京区 聖護院中町5	300,000
	藤 原 福 二	泉佐野市日根野5925	25,000
	あゆみの箱	同 上	5,500
計			430,500

収 支 計 算 書

自 昭 和 5 7 年 4 月 1 日
至 昭 和 5 8 年 3 月 3 1 日

I 収 支 計 算 の 部

(単 位 : 円)

1) 収 入 の 部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異 (△)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
1. 基 本 財 産 等 運 用 収 入	利 息 収 入		14,375,297	14,773,699	△ 382,859	
2. 寄 付 金 収 入			0	430,500	△ 430,500	
3. 奨 学 貸 与 金 回 収 収 入			0	2,940,250	△ 2,940,250	
前期繰越収支差額			24,889,075	24,889,075		
収 入 合 計			39,264,372	43,033,524	△ 3,753,609	
2) 支 出 の 部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異 (△)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
1. 管 理 費	(1) 人 件 費		(1,000,000)	(640,000)	(360,000)	
	(2) 消 耗 費		(750,000)	(572,260)	(177,740)	
	消 耗 品 費		100,000	35,510	64,490	
	図 書 印 刷 費		300,000	249,300	50,700	
	通 信 運 搬 費		150,000	141,730	8,270	
	旅 費 交 通 費		100,000	56,720	43,280	
	雑 費		100,000	89,000	11,000	
	(3) 会 議 費		(200,000)	(30,855)	(169,145)	
	役 員 会 費		100,000	30,855	69,145	
	そ の 他		100,000	0	100,000	
	(4) 一 般 諸 経 費		(200,000)	(73,117)	(126,883)	
	租 税 公 課		150,000	58,125	91,875	
	保 険 料		50,000	14,992	35,008	
	(5) 雑 費		(300,000)	(85,525)	(214,475)	
	2. 事 業 費	(1) 奨 学 貸 与 金		(12,000,000)	(5,460,000)	(6,540,000)
(2) 入 学 金 貸 与 金			(2,000,000)	(300,000)	(1,700,000)	
(3) 学 生 補 導 費			(100,000)	(0)	(100,000)	
(4) 教 育 集 会 費			(2,000,000)	(280,000)	(1,720,000)	
(5) 就 職 幹 旋 費			(100,000)	(0)	(100,000)	
(6) 憩 の 家 運 営 費			(1,500,000)	(147,500)	(1,352,500)	
(7) 10周年記念事業費			(2,000,000)	(1,481,300)	(518,700)	
3. 予 備 費			(200,000)	(0)	(200,000)	
4. 次 期 繰 越 収 支 差 額			(16,914,372)	(33,962,967)	(△17,033,052)	
支 出 合 計			39,264,372	43,033,524	3,753,609	

II 正味財産計算の部

(単位：円)

1) 増加の部			
勘定科目		決算額	備考
大科目	中科目		
資産増加額	奨学貸与額	5,460,000	
	入学資金貸与額	300,000	
	基本財産金銭信託増加額	710,000	
負債減少額		0	
基本金減少額		0	
前期繰越増減差額		46,070,000	
増加額合計		52,540,000	
2) 減少の部			
勘定科目		決算額	備考
大科目	中科目		
資産減少額	奨学貸与金戻入額	2,940,250	
	入学資金貸与金戻入額	0	
	基本財産未収入金減少額	710,000	
負債増加額		0	
基本金増加額			
減少額合計		3,650,250	
次期繰越増減差額		48,889,750	
剰余金合計		82,852,717	{ 次期繰越増減差額 48,889,750 } { 次期繰越収支差額 33,962,967 }

貸 借 対 照 表

昭和58年3月31日現在

1. 資 産 の 部

(単位:円)

勘 定 科 目		摘 要	金 額			
大 科 目	中 科 目		基 本 金		そ の 他 資 産	計
			基本財産	運用財産		
流動資産	現 金	手 許 在 高			75,172	75,172
	預 貯 金	(定期預金)				
		住友銀行 佐野支店			954,985	
		(普通預金)				
		住友信託銀行 阪急梅田支店			5,548,327	
		" 難波支店			1,950,159	
		富士銀行 "			84,750	
		三和銀行 "			217,790	
		大和銀行 "			37,433	
		住友銀行 "			49,033	
		" 佐野支店			54,767	
		京都銀行 口大野支店			57,456	
		(当座預金)				
		住友信託銀行 阪急梅田支店			149,250	
(貸付信託)						
住友信託銀行 阪急梅田支店			22,000,000			
(金銭信託)						
住友信託銀行 阪急梅田支店			1,658,487			
" 難波支店			453,623			
振替預金				721,735	33,887,795	
流動資産合計					33,962,967	33,962,967
有形固定資産	土 地	京都府中郡大宮町字奥大野 553-1 宅地 367.27㎡ S.46.5.27取得	249,975			
		同上 553-2	2,219			
		山林 185㎡ "				
		同上 554	467			
		山林 42㎡ "				
	同上 小字平太郎 18 山林 697㎡ "	7,143				
	(土地小計)				(259,804)	
	建 物	京都府中郡大宮町字奥大野 553-1 木造亜鉛メッキ鋼板 居宅 平家建 49.26㎡ "	3,575,120			(3,575,120)
有形固定資産合計			3,834,924			3,834,924
その他の 固定資産	未 収 入 金		9,495,274			9,495,274
	金 銭 信 託	住友信託銀行 阪急梅田支店	1,674,000			1,674,000
	貸 付 信 託	" "	96,424,880	59,300,000		
		" "	9,600,000	3,575,120		
	" 難波支店			1,120,000		170,020,000
奨学貸与金	入学金貸与額を含む			48,889,750	48,889,750	
その他の固定資産合計			117,194,154	63,995,120	48,889,750	230,079,024
固定資産合計			121,029,078	63,995,120	48,889,750	233,913,948
資 産 合 計			121,029,078	63,995,120	82,852,717	267,876,915

2. 負債の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
流動負債合計		0	0	0	0
固定負債合計		0	0	0	0
負債	合計	0	0	0	0

3. 正味財産の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
基本金	基本財産	121,029,078			
	運用財産		63,995,120		185,024,198
剰余金	次期繰越収支差額			33,962,967	
	次期繰越増減差額			48,889,750	82,852,717
正味財産合計		121,029,078	63,995,120	82,852,717	267,876,915
負債及正味財産合計		121,029,078	63,995,120	82,852,717	267,876,915

110

財 産 目 録

区分	昭和58年3月31日			
	基本金		その他の資産	計
	基本財産	運用財産		
資産	121,029,078	63,995,120	82,852,717	267,876,915
負債	0	0		
差引残高	121,029,078	63,995,120	82,852,717	267,876,915

(注) 内訳明細は貸借対照表に同じ

収支計算書総括表

自 昭和 57 年 4 月 1 日

至 昭和 58 年 3 月 31 日

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
基本財産等運用収入	1 4,773,699	1 4,773,699	0
寄 附 金 収 入	4 30,500	4 30,500	0
奨学貸与金回収収入	2,940,250	2,940,250	0
土地売却収入			0
前期繰越収支差額	2 4,889,075	2 4,889,075	0
合 計	4 3,033,524	4 3,033,524	0

1. 支出の部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
管 理 費	1,521,757	1,521,757	0
事 業 費	7,548,800	7,548,800	0
予 備 費	0	0	0
次期繰越収支差額	3 3,962,967	3 3,962,967	0
合 計	4 3,033,524	4 3,033,524	0

貸借対照表総括表

昭和58年3月31日 現在

1. 資産の部

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動資産合計	33,962,967	33,962,967	0
有形固定資産合計	3,834,924	3,834,924	0
その他の固定資産 合 計	230,079,024	230,079,024	0
固定資産合計	233,913,948	233,913,948	0
資産合計	267,876,915	267,876,915	0

2. 負債の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動負債合計	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0

3. 正味財産の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
基 本 金	185,024,198	185,024,198	0
剰 余 金 合 計	82,852,717	82,852,717	0
正味財産合計	267,876,915	267,876,915	0
負債及正味財産合計	267,876,915	267,876,915	0

昭和58年度事業計画書

1. 学生生徒に対する育英奨学金の貸与

貸与対象者を最低50名以上とし、100名の貸与者とすることを目標として募集を行なう。

(1) 奨学生数

(人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
高等学校奨学生	40	31 (9)	23 (9)			94 (18)
高等専門学校奨学生	0	1	1	3 (2)	1	6 (2)
計	40	32 (9)	24 (9)	3 (2)	1	100 (20)

㊦ 上表中()内の数字は、前年度より引き続きの貸与者数

(2) 奨学金額等

(イ) 昭和58年4月以前に貸与を開始した者

	貸与金額	支給期間
高等学校奨学生 1人当り	月額10,000円	58年4月 ～59年3月
高等専門学校奨学生 1人当り	月額10,000円	58年4月 ～59年3月

(ロ) 昭和58年4月以降に貸与を開始する者

高等学校奨学生 1人当り	月額15,000円	58年4月 ～59年3月
高等専門学校奨学生 1人当り	月額15,000円	58年4月 ～59年3月

2. 学生生徒に対する入学資金の貸与

入学資金の貸与は従来どおり1名100,000円を20名の貸与者を目標として実施するが、すでに9名の予約申込者がある。

3. 寄附行為第4条第2号に定める事業

(1) 川口財団憩の家の運営

利用収容計画

時 期 7月中旬～8月下旬までの期間申込希望により

人員数 約10家族（1家族2名 2泊3日とする）

宿泊に要する費用及び交通遣児と保護者1名の旅費は当財団が負担。

天の橋立海水浴場並びに登山における事故負担について財団が免責できるように措置を採る。

運営並びに遣児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の全面的援助協力に依存する。

(2) 交通遣児の就職斡旋事業

最近の経営環境の変化に伴ない、交通遣児のうちの就職希望者の就職状況については必ずしも楽観を許さないものがあり、保護者も不安を抱いているため、これらの就職斡旋希望者を把握し、本財団として積極的にその斡旋に努めるとともに、特にこの問題については社団法人大阪青年会議所並びにそのメンバー企業の全面的協力をお願いすることとする。

なお、交通遣児の母親に関しても無理な雇用条件のもとで、健康を害する等社会的な問題が発生しつつあり、これらの就職問題についても同様に協力することとする。

(3) 青少年キャンプの開催

精神的な面での援助や指導を必要とする生徒・児童を対象とする少年野外キャンプについては本年度も独自の実施は見合わせ、下記のとおり計画で行なわれる財団法人大阪交通災害遺族会のプロジェクトに協賛することとする。

期 日 昭和58年8月16日(火)より19日(金)に至る3泊4日

場 所 大阪府豊能郡能勢町宿野 北摂高原

大阪府総合青少年野外活動センター 本館

対 象 者 小学校高学年より高校生までの男女 約100名

(当財団の奨学生たる高校生をグループリーダーとする。)

行事内容 ハイキング、アーチェリー、キャンプファイヤー等
目的 野外活動に適應する能力と若干の技術の養成並びに団体
行動における責任感と協調性を養い、併せて明朗な生活
態度を身につけるようにする。

(4) J. C青年の船への参加

次代を担う青年が国の内外において諸外国の青年と相互理解を深め、さらに広い視野と国際的な感覚を身につけることは、今日の国際化時代にふさわしく、極めて時代の要請に応え得るものであるとの観点から国際的な青年の育成と連帯を目指すことを目的として、昭年58年6月13日(月)から香港、台湾、沖縄をまわり6月24日(金)まで行なわれるJ C青年の船の企画に続いて参加することとし、当財団の奨学金を受けて卒業した4名を推薦して参加乗船させることとした。

予 算 書

自昭和 58 年 4 月 1 日
至昭和 59 年 3 月 31 日

I 収入支出の予算

(単位:円)

1) 収入の部						
勘定科目			予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
大科目	中科目	小科目				
1. 基本財産等 運用収入	利息収入		15,297,106	14,375,297	921,809	
前期繰越収支差額			33,947,424	24,889,075	9,058,349	
収入合計			49,244,530	39,264,372	9,980,158	
2) 支出の部						
勘定科目			予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
大科目	中科目	小科目				
1. 管理費	(1) 人件費		(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
	(2) 消耗費		(900,000)	(750,000)	(150,000)	
	消耗品費		100,000	100,000	0	
	図書印刷費		400,000	300,000	100,000	
	通信運搬費		200,000	150,000	50,000	
	旅費交通費		100,000	100,000	0	
	雑費		100,000	100,000	0	
	(3) 会議費		(200,000)	(200,000)	(0)	
	役員会費		100,000	100,000	0	
	その他		100,000	100,000	0	
	(4) 一般諸経費		(200,000)	(200,000)	(0)	
	租税公課		150,000	150,000	0	
	保険料		50,000	50,000	0	
	(5) 雑費		(300,000)	(300,000)	(0)	
	2. 事業費	(1) 奨学金貸与費		(16,800,000)	(12,000,000)	(4,800,000)
(2) 入学金貸与費			(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
(3) 学生補導費			(100,000)	(100,000)	(0)	
(4) 教育集会費			(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
(5) 就職斡旋費			(100,000)	(100,000)	(0)	
(6) 憩の家運営費			(1,000,000)	(1,500,000)	(△ 500,000)	
(7) 10周年記念事業費			(0)	(2,000,000)	(△ 2,000,000)	
(8) 青年の船事業費			(1,500,000)	(0)	(1,500,000)	
3. 予備費			(200,000)	(200,000)	(0)	
4. 次期繰越収支差額			(22,944,530)	(16,914,372)	(6,030,158)	
支出合計			49,244,530	39,264,372	9,980,158	

予 算 総 括 表

自 昭 和 5 8 年 4 月 1 日
至 昭 和 5 9 年 3 月 3 1 日

I 収 入 の 部

(単 位 : 円)

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
基本財産等運用収入	1 5,2 9 7,1 0 6	1 5,2 9 7,1 0 6	0
前期繰越収支差額	3 3,9 4 7,4 2 4	3 3,9 4 7,4 2 4	0
合 計	4 9,2 4 4,5 3 0	4 9,2 4 4,5 3 0	0

II 支 出 の 部

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
管 理 費	2,6 0 0,0 0 0	2,6 0 0,0 0 0	0
事 業 費	2 3,5 0 0,0 0 0	2 3,5 0 0,0 0 0	0
予 備 費	2 0 0,0 0 0	2 0 0,0 0 0	0
次期繰越収支差額	2 2,9 4 4,5 3 0	2 2,9 4 4,5 3 0	0
合 計	4 9,2 4 4,5 3 0	4 9,2 4 4,5 3 0	0